

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日				
平成15年度	事業コード	23130	電話	042-751-9141
担当部課名	消防本部	警防	課	
事務事業名	消防車両購入費 国庫補助分			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざして	事業開始年度
基本施策名	第1節	災害に強いまちづくり	63以前年度
施策名	第3施策	消防力の強化	

2 実施根拠及び関連法令等

消防力の基準（昭和36年消防庁告示第2号）、相模原市消防力整備計画及び消防車両等の更新計画、消防施設強化促進法（昭和28年7月27日）

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

国庫補助事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1) 事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2) 対象(誰、何)	
複雑多様化する各種の災害に対応する消防車両を充実しもって消防力の強化を図る。		市民	
		対象数	620000
(3) 平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
更新車両 国庫補助金の助成措置を最大限に活かし、消防車両等の更新計画に基づき各年度計画的に更新を進め、災害の多様化、複雑化を踏まえ、新機材の導入及び資機材の軽量化による迅速化や救急処置の高度化を図った。 ・水槽付消防ポンプ自動車1台 ・消防ポンプ自動車1台（配置場所：東林分署） ・高規格救急自動車1台（配置場所：緑が丘分署）			
(4) 個別計画の概要		概要	
計画名	相模原市消防力整備計画	消防組織・施設の充実 3 消防車両・装備の充実	
計画年次	13年度～22年度		

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	災害活動等性能向上		車両性能の向上及び活動資機材の電動化等による活動性能の向上					
活動指標	目標配置及び更新達成率	$A \text{ 新規導入車両配置数} \div \text{計画数} \times 100$ $B \text{ 更新車両数} \div \text{計画数} \times 100$ $(A + B) \div 2$	配置達成率から計画的な配置が実施できたかを表わす。		50	20	20	

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費	決算(予算)額	114,539	332,475	100,307	62,581	264,493
	人員・時間数	2・60	2・300	2・180	2・60	2・360
	人件費	250	1,248	749	250	1,508
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	114,789	333,723	101,056	62,831	266,001
特定財源		45,023	79,367	30,962	13,280	45,246
対象数		590	600	610	620	620
対象の単位あたり経費		194.6	556.2	165.7	101.3	429.0

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A: 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B: 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C: 達成していない		・事業目標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input checked="" type="checkbox"/> 低
		説明	計画的な新規車両の導入ができず、先延ばしによる計画変更によって配置している状況である。
(2)必要性 評価 A ▼	A: 適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない
	B: 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C: 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 本事業は、救急出場をはじめとする、災害件数は、毎年増加傾向にあるとともに、複雑多様化していることに対応を図るものである。
(3)有効性 評価 A ▼	A: 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B: 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C: 有効ではない		
		説明	本事業は、消防車両及びその積載機材の充実をさせることをもって、災害による被害の軽減を図る観点から有効である。
(4)効率性 評価 A ▼	A: 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B: 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C: 改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている <input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない
		説明	災害の多様化及び職員の高齢化を考慮に入れ、消防車両及びその積載機材の電動化、軽量化ことにより、効率化が図られる。
(5)公平性 評価 A ▼	A: 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B: 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C: 公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	市内の各署、分署に適正に車両(部隊)配置していることから、均等なサービスが図られる。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	説明: 本事業を推進することにより、多様化する災害からの被害の軽減がはかることができる。	手段	消防車両の長期間使用による経年劣化及び自動車No法による使用期限、さらに消防力の充実を図るための計画であるため事業費削減は考えられない。
		削減額	千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較 他の自治体においても、同様の事業を実施しており妥当である。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 市民の安全を守るために必要不可欠であり、今後も事業を継続的に進める。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--